

No.1627

第1628 回例会

2014年6月13日(金) 18:30～20:30
点鐘

物故会員黙禱

ロータリーソング “我等の生業”

会長会務

*ゲスト紹介。米本幸寿さん
米山奨学生 楊 宜平さん

*本日は創立34周年記念例会です。34年前鳥取北RC・鳥取RCをスポンサークラブとして35名で発足、創立総会が開かれました。チャーターメンバーで現在もご在籍は、岸本潤会員と林 壽延会員の2名です。お二方にはお身体にご留意いただきたいと思います。

*木の話(42)

ブナ科にクエルクスと呼ばれるカシ樹木群が世界に200種以上もあります。今日はその中からアラカシについて、お話しします。



*6月の創業祝を差し上げます。

大田原俊輔 岡田信俊 松島 勇 森本和夫
の各会員

幹事報告

*次週が今年度最終例会となります。

委員会報告

*親睦活動・出席委員会

出席率・スマイル報告

*次期社会奉仕委員会

*次期親睦活動・出席委員会

創立34周年記念夜間例会懇親会

先週(第1627 回例会)の記録

2014年6月6日(金) 12:30～13:30

会長会務

*木の話(41) 日本産木材で最も軽く、柔らかで、狂わないため、箆笥などに重宝されるノウゼンカツラ科のキリについて、お話しします。

成長の早い落葉高木で、樹高は10m、胸高直径は50cmに達します。幹は灰褐色で、葉は対生し、6-20cmの葉柄の先に、広卵形で長さ10-20cm、幅7-16cmで5本の掌状の脈があり、3-5の浅い割れがあります。夏は地面が暗くなるほど繁茂します。

花は5月に薄紫色の花が突起した円錐花序に見事に咲きますが、その姿は見事です。果実は9-10月に赤く、卵円形3-5mmに熟します。

原産地は明らかではありませんが、古くから木材用に植栽され、南部桐や会津桐が有名です。成長が速く10年位で利用できる大きさにすることが出来ることから、戦後、キリの速成栽培が盛んでした。

材は散孔材のような環孔材で灰白色から薄い淡褐色で美しく、狂いが少なく、吸湿、吸水性も小さく、断熱性が大きいなど素晴らしい性質のため、家具特にタンスのほか、器具、建具、楽器等に重宝されますが、金庫の内装は防火のため必ず使われました。

幹事報告

*ガバナーエレクト事務所より、次年度雑誌・広報委員長会議のご案内。

8月2日(土) 12:30～ホテルサンパレス益田

*鳥取北RCより次年度東部5RC会長・幹事会開催のお知らせ。

7月1日(火) 18時～ホテルモナーク鳥取

*例会変更のお知らせ

倉吉中央 6月25日(水) 定款により休会

倉吉東 6月26日(木) 定款により休会

鳥取北 6月24日(火) 定款により休会

鳥取中央 6月30日(月) 定款により休会

ビジターの受付はありません。

- * 森下哲也会員より、このたび代表取締役社長を退き、代表取締役会長に就任しましたという挨拶状をいただきました。

出席率

6月6日 会員 50名 欠席 10名 79, 59%
5月23日 メーキャップ 4名 83, 67%

メーキャップ会員

6月2日 金本勝彦 米村年博 加藤一吉 矢谷英志 木原一志の各会員 鳥取中央RCへ
6月3日 岩崎陽一会員 峰岸健一会員 鳥取北RCへ

スマイル

- * 西尾 茂会員 / 鳥取市バレーボール協会理事長 岸本進一様、本日の卓話よろしくお願いします。
- * 岡田信俊会員 / 岸本進一様、本日は卓話をお願い致します。
- * 葉狩弘一会員 / 本年度も残す所あと1ヶ月です。西尾会長、竹内幹事、頑張ってください。
- * 森本和夫会員 / 先週(5/23~30)3泊にて九州に行ってきた。大分の由布岳(1583m)、宮崎の高千穂峰(1574m)いづれも今回初めてでした。天候も良く特に高千穂峰はミツバツツジが満開、山、全体が濃い赤紫色、絶景でした。
- * 金田卓也会員 / 6月1日付けで東部タクシー株式会社の代表取締役会長に就任しました。二度目の就任です。
- * 森下哲也会員 / このたび、社長を退任しました。あとは息子です。よかった。
- * 山村保雄会員 / 今月のロータリーの友のわがまちに世界遺産の田島弥平旧宅が載っていました。やったあ~。
- * 坂本直会員 / 本日、新本社開所式です。お陰様で創業21年目にして鳥取市内に本社移転できました。
平野敏和会員 / 創業記念日
- * 早退3件 合計20,000円

会計より 金田卓也会員

年度末になりますので、入金・各請求書はお早目をお願い致します。

雑誌委員会 岡本安量会員

ロータリーの友6月号の紹介。

卓話「9人制バレーボールの紹介」

鳥取市バレーボール協会

理事長 岸本進一氏

- * 私がバレーボールを始めた中学生のときには日本では既に6人制が主流でした。その後、社会人として審判の資格を取りました。93年にA級審判員の資格を取得し、9人制の審判をする機会が多くなりました。それから20年くらい9人制のバレーを中心に審判活動をしています。審判員として色々な大会に参加し、いくつかの大会の決勝を担当させていただきました。私が現在所属している日本バレーボール協会の

審判規則委員会指導部というところは、日本全国の審判員のスキルアップのための活動をしています。全国の講習会で講師を行ったり、協会が主催する全国大会での審判長を務めたりが主な仕事となります。

- * 中学生から大学生までの部活同は6人制です。しかし、地域のバレーボール大会などでレクリエーション色が強くなると9人制バレーボールをされることが多いのではないかと思います。ママさんバレーも、少しルールはアレンジしていますが、9人制バレーです。9人制バレーの競技人口が一番多いのはママさんバレーだと思います。また、競技スポーツとしての9人制バレーにも、いくつかの全日本大会があります。
- * 6人制と9人制のルールの違いですが、9人制は6人制と違い、誰が何をしてもいいというフリーポジション制になっています。今、6人制は25点まで1セットですが、9人制は21点までです。また、9人制はサーブが2本打てます。9人制は1本目を失敗してもよいので1本目は得点を狙ってカー杯打ってくるということがあります。9人制ではネットを超えてのブロックも禁止されています。また、6人制ではブロックに当たった分は1回に数えませんが、9人制では1回に数えます。9人制のルールで最も複雑で、9人制を面白くしているのが、ネットに当たったら3回の許容回数が1回増えるというものです。一つの例ですが、サーブをレシーブしてセッターにボールが返ってきたのを、セッターが一度ネットに当てて、その当てたボールでもう一回トスを上げるということで、通常と違うリズムで攻撃ができます。たまたまネットに当たってアタックを失敗したボールも相手にもう一回返せば良いというのも6人制との違いです。
- * 9人制バレーボールが日本に普及した背景には、実業団チームの存在がありましたが、現在、実業団チームは激減しています。中国地方で残っているチームでも、新入部員が取れずに苦労しているという話を聞いています。2010年の千葉国体を最後に9人制が国体の正式種目から消滅してしまったということで、今、ちょっと9人制は厳しい状況になっています。
- * 最後になりますが、9人制は今、厳しい状況ですので、ぜひ応援をしていただきたいと思います。来年の7月に実業団の9人制の日本一を極める大会がこの鳥取市で開催されることが決まりました。どうかその際には9人制の素晴らしいプレイに触れていただきたいと思います。

次週例会予定

2014年6月20日(金)第1629回例会
全員協議会「理事・役員退任挨拶」